

わたの丘

学校だより 第515号 (令和4年2月28日発行)



<http://wada.maizuru.ed.jp>



中庭の雪の様子

コロナ禍でも身につけたい大切な力

2月は雪の降った日が多くあり、3月となってもまだまだ春の気候とは言えませんが、寒さも和らぎ陽気を感じる日が増え始め、いよいよ季節は春へと移り変わって参りました。

保護者、地域の皆様におかれましては益々ご健勝にてお過ごしのことと存じます。新型コロナウイルス感染症が広がり始めてから2年が経過し、まだまだ収束というような状況ではありませんが、平素は、本校教育推進に格別のご理解とご支援をいただき、誠に感謝いたしております。

京都府においては、まん延防止等重点措置が継続しており、感染拡大防止の取組は今後もしばらく継続して行かねばなりません。つきましては、本年度も卒業式については来賓の皆様のご臨席や在校生の式への参加は無しとさせていただき、感染予防対策をとりながら卒業生および保護者、教職員のみで最小限の人数で時間短縮を図り、実施することといたしました。ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、『サラリーマン川柳コンクール』の全国優秀100句が1月末に発表されておりましたが、3月中旬まで優秀作品ベスト10を決める投票があるようです。いくつか入選作品を読ませていただいたのですが、川柳というものは同じ「五・七・五」でも俳句と違い、身近な人間模様などを題材に、ユーモアを取り入れた作品が多いです。選ばれた作品はコロナ禍の情景を読んだ内容が多く、『マスク顔確信持てず 見つめ合う』や『「久しぶり!」なんか違和感 マスクなし』という句から、様々な場面でマスクだけでは顔の全体像が分からず、「誰だったかな?」と、ただイメージや想像だけで人と接するしかなく、声かけもできないこともあり、対応に困られた方もおられるのではないのでしょうか。「目」だけのイメージで、想像していた顔とは違っていることも多々あります。発せられる言葉だけでは、その人の感情を読んだりすることは難しいと思います。顔の表情と言葉とあわせて、対応しているように思います。特に初対面の方との対話では、思っている以上に想像力や経験を働かせて、対応していかなければなりません。経験の浅い子どもたちであればなおさら難しい行為ではないのでしょうか。このマスクをつけた状態での人とのつながりが当たり前になっている昨今ではありますが、コミュニケーション能力や人の思いや感情を読み取る力は人と接する経験をしながら身につけるものであることから、コロナ禍によってその機会を多く奪われているように思います。川柳でもそうかもしれませんが、この短い句から、情景を想像し、言葉の中に秘められた人の思いや考えを読み取る必要があります。そういった意味では自己の興味や体験とかけ離れていたりすると、その句の意味がよくわからなかったりすることもあるのかもしれませんが。人の心を理解し思いやりをもって接することは、この読み取る力に通じるものがあるのではないのでしょうか。

本年度より、生徒はGIGAスクール構想のもと、一人一台の端末(iPad)を活用し、授業や行事等に取り組んでいます。生徒はさすがに学ぶのが速いです。あっという間に多くのアプリケーションソフトを使いこなし、主体的な学びの機会を大いに生かし、力を身につけてつあります。2月16日には、2年生が総合的な学習の時間で取り組む「和田クエスト」の活動で、市役所や事業所の方々にご協力いただき、オンラインでのインタビューを行うなど、新しい取組を進めています。しかし、こういった生徒のタブレットの活用が進む中、残念ながら、ルール違反やマナーが守れない事象も発生しています。そのときは活用をいったん止めて全員で考える機会も設けています。成功や失敗を繰り返しながら、情報モラルや正しい活用方法なども含め、様々な学びをしていただいていることと思います。さて、一人一台の端末の役割はただアプリケーションソフトを活用したり、わからないことを検索して調べたり、動画を見たりとICTの機能をただ使うことだけでなく、大きな役割と期待がもたれています。それは、21世紀型スキルを育成するための「STEAM教育」の可能性を秘めているということです。「STEAM」は「科学(Science)」「技術(Technology)」「工学(Engineering)」「芸術・教養(Art)」「数学(Mathematics)」の5つの頭文字からつくられた言葉です。これらのあらゆる分野はそれぞれ単独の学問ではなく、これらの知識を複合して活用し課題解決していくことを目指す教育です。ある解決困難な課題があるとして、それを解決するためには一つの分野の知識だけでは対応できない。そのため、あらゆる視点から解決の糸口を見つけ出し、取り組む必要があるということです。そういった力を身につけていくのがこの「STEAM教育」の考え方です。そこでICTは様々な分野の知識をつないでくれる大切なツールであるということで、重要な役割を持っています。ぜひ、ICTの活用がこのような目的で活用できるようになることを期待したいと思います。

今年度もあと1ヶ月を残すのみとなりました。まだ公立校高校の中期選抜等が残ってはおりますが、いよいよ3年生は3月15日に卒業式を迎えます。今は様々な思いがこみ上げてくるかもしれませんが、義務教育を終えることとなります。自分の夢に向かって羽ばたいてくれることを願っています。また、1、2年生も4月から一つ上の学年に上がります。新年度の準備をして、4月から始まる新しい生活が良いスタートとなることを願っています。保護者・地域の皆様、今後も温かく生徒を見守ってやっていただきますようよろしくお願いいたします。

校長 荒賀 洋